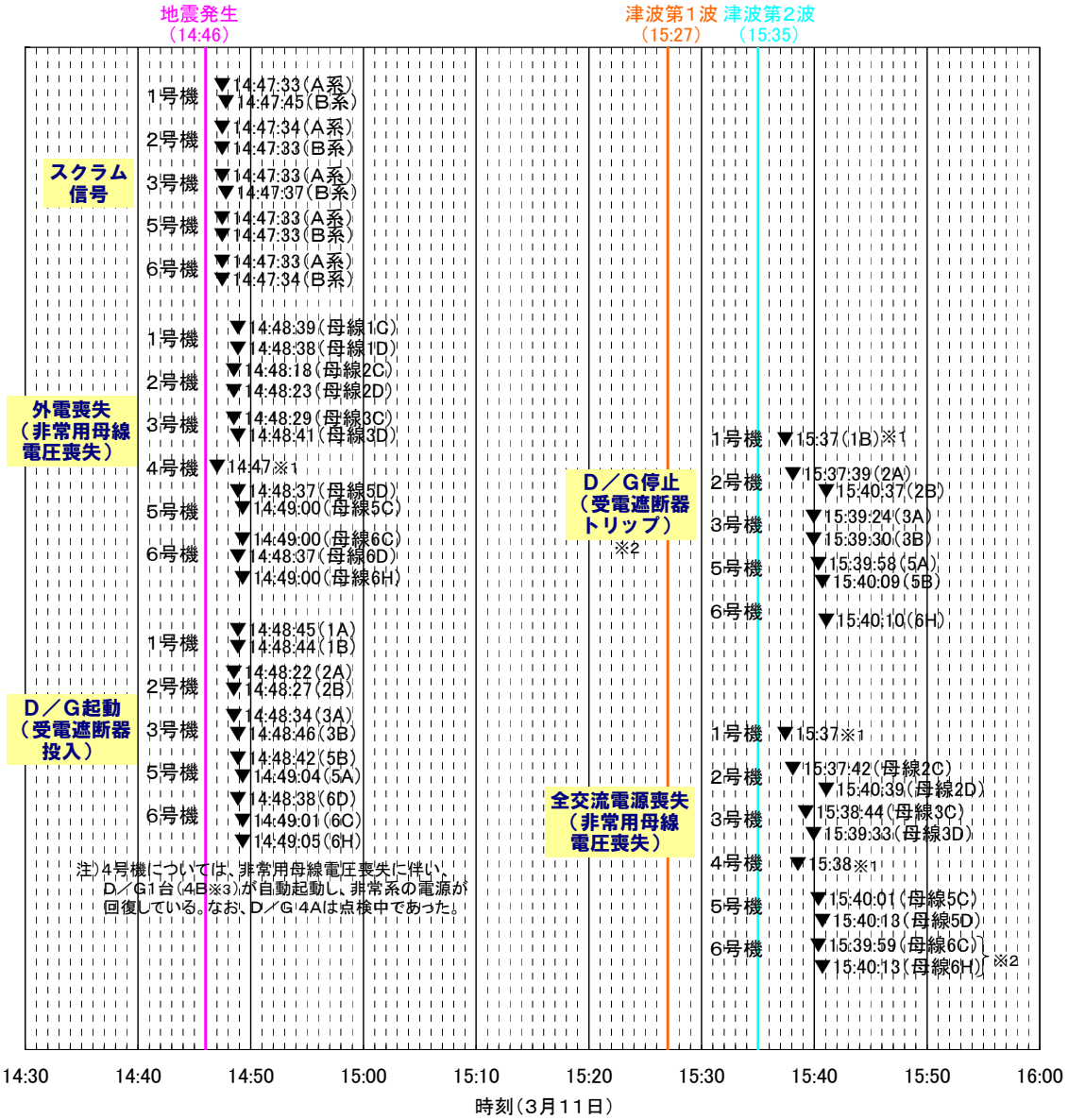
地震発生後の外部電源喪失、Ｄ／Ｇ起動時刻、また、津波後のＤ／Ｇのトリップ、非常用電源喪失などの発生時刻を次表に示す。発電所に地震動が伝わると各プラントでスクラム信号を検知し、その後、外部電源は喪失したが直ちにＤ／Ｇが起動し電源が確保されている。しかし、１５時３５分の津波第二波の襲来後に短時間の間で６号機非常用Ｄ／Ｇ（６Ｂ）を除き、全ての非常用交流電源の喪失に至っている。

津波の被害を受けた設備のうち、原子炉の冷却に用いられる設備であり、今般の津波による設備被害の特徴を端的に示している設備について被害状況を以下に示す。

福島第一　アラームタイパ出力等からみた事象の進展



◆時報で時刻補正されている2，5号機のうち、最も早くスクラム信号を発した2号機のB系原子炉スクラム信号（14：47：33）を基準とし、各プラントでより早くスクラム信号を発した系統の時刻と比較し補正を行う。
1号機　14：47：33－14：46：46（A系信号）＝＋47秒
3号機　14：47：33－14：47：00（A系信号）＝＋33秒
5号機　14：47：33－14：47：35（A,B系信号）＝－2秒
6号機　14：47：33－14：47：41（A系信号）＝－8秒

◆4号機については、定検停止中であり、プロセス計算機、過渡現象記録装置の取替え作業中であったこと等から、アラームタイパ等による記録上の確認はできない。

※1　当直員引継日誌より
※2　6号機D／Gの6Bは運転を継続していたため、受電遮断機トリップ及び非常用母線電圧の喪失なし。
　　6Aは浸水により運転を停止しているが、アラームタイパの記録なし。
※3　燃料油タンク（燃料ディタンク）レベルの低下が確認されている。